

催し物のご案内 (1999年5月～7月)

観察会・講座等

1. 神奈川の自然を歩く(2)
野外観察「湘南平から地形を観よう」
[大磯町湘南平]
日時：5月3日(祝) 10:00～15:00
対象：一般40名
募集：3月30日(火)～4月20日(火)
2. 野外観察「水辺の生物ウォッチング」
[松田町川音川]
日時：5月8日(土) 10:00～15:00
対象：小中学生とその保護者40名
募集：3月30日(火)から4月20日(火)
3. 室内実習「ダイバーのための魚類学入門」
[博物館]
日時：5月16日(日)・23日(日) 全2回
9:00～16:00
対象：18歳以上10名
募集：4月13日(火)から5月4日(火)
4. 野外観察「磯の生物ウォッチング」
[真鶴町三ツ石海岸]
日時：5月30日(日) 10:00～15:00
対象：小中学生とその保護者40名
募集：4月27日(火)から5月18日(火)
5. 神奈川の自然を歩く(3)
野外観察「弘法山で昆虫を観よう」
[秦野市弘法山]
日時：6月6日(日) 10:00～15:00
対象：一般30名
募集：5月4日(火)から5月25日(火)
6. 室内実習「ミクロの生物観察会」
[博物館] 友の会共催
日時：6月12日(土) 10:00～15:00
対象：子どもから大人まで
募集：5月11日(火)から6月1日(火)
7. 室内実習「スゲ属植物分類講座」[博物館]
日時：6月16日(水) 10:00～15:00
対象：一般45名(中上級者向)
募集：5月11日(火)から6月1日(火)
8. 野外観察「変形菌入門」[箱根町]
国立科学博物館共催
日時：6月26日(土)・27日(日) 全2回
10:00～15:00
対象：小中学生10名
募集：5月18日(火)から6月8日(火)
9. 夏休み自由実験室・自由研究相談室
[博物館] 友の会共催
実施日：7月20・24・25日、8月1・4・5・21・22日(8日間)
時間：10:00～15:00
対象：子どもから大人まで
申込：参加日の5日前まで
10. シンポジウム「伊豆小笠原弧の研究」
[博物館] 湘南地球科学の会共催
日時：7月24日(土) 10:00～15:00
対象：一般70名
募集：6月22日(火)から7月13日(火)
11. 神奈川の自然を歩く(4)
野外観察「箱根山で植物群落を観よう」
[箱根町]
日時：7月28日(水) 10:00～15:00
対象：一般40名
募集：6月22日(火)から7月13日(火)

申し込み方法：往復はがきに参加行事名、参加代表者の住所、氏名、電話番号(連絡先)、参加する人全員の氏名と年齢(学年)を明記して、お申し込みください。応募多数の場合は抽選となります。

ライブラリー通信

桜

今年の春も桜は律義に咲き、人々は花見をせんとてこぞって名所へ繰り出し、桜の美を賞でつつ、呑みあるいは放歌する間に慌ただしくも花は散りゆく。毎年桜の季節になると、日本中が何やら浮き足立って落ち着かなくなるほどです。私たち日本人はなぜこれほどまでに桜が好きなのでしょう。

桜はもともと日本に自生していたものが次第に自然交配や栽培化されて品種が増え、ことに江戸時代後期に至って盛んに園芸品種化されるようになりました。現在、自生種・園芸種合わせて300種前後の品種があるといわれています。私たちが公園や校庭でよく見かける桜の大半はソメイヨシノですが、この桜は江戸幕末期に染井村(現在の豊島区駒込)で「吉野桜」として売りに出されたことに由来するというのが通説になっていて、明治33年になって藤野寄命が「日本園芸雑誌」においてソメイヨシノと命名したものがそのまま名となったとされています。その後このソメイヨシノはエドヒガンとオオシマザクラという桜の交配種であったことが明らかにされました。桜の歴史から見れば現在幅を利かせているソメイヨシノは桜の仲間内では新顔ということになります。

ソメイヨシノが出現するまではヤマザクラが主役でした。その昔、太閤秀吉が権勢の頂点にあった時京都の醍醐にて家康を招待して催した花見で彼等が見た桜はヤマザクラであったことでしょう。近年、東京都が復活させる計画が進行している玉川上水堤の小金井桜もこのヤマザクラです。

今回は桜に関する図書をご紹介します。植物学的な図書だけではなく日本人と桜との関わりという視点から集めてみました。

<参考文献> 『さくら百科事典』(婦人画報社)、『日本の桜』(山と溪谷社)、『桜誌』(原書房)、『桜伝奇』(工作舎)、『桜』(中央公論社)、『櫻史』(講談社学術文庫)、『桜と日本人』(新潮社)、『江戸の花見』(築地書館) (司書・内田 潔)

企画展のご案内

「北アルプスの四季

—古幡和敬・岳をめぐりて—より」

平成11年4月24日(土)～5月30日(日)
<開催中、5月3日を除く毎週月曜日と5月6日(木)は休館>

長野県在住の山岳写真家、古幡和敬氏が30年にわたって記録した60点の写真で、日本の屋根「北アルプス」の迫力や、四季の変化が織りなす自然の表情を紹介します。

観覧料：無料

特別展のご案内

「伊豆の海から生まれた神奈川

—伊豆・小笠原弧の形成と活断層—」

平成11年7月17日(土)～9月5日(日)

島弧と島弧が衝突している、世界でも珍しい場所である神奈川の生い立ちと活断層について紹介します。

詳細は次号の「自然科学のとびら」をご覧ください。